

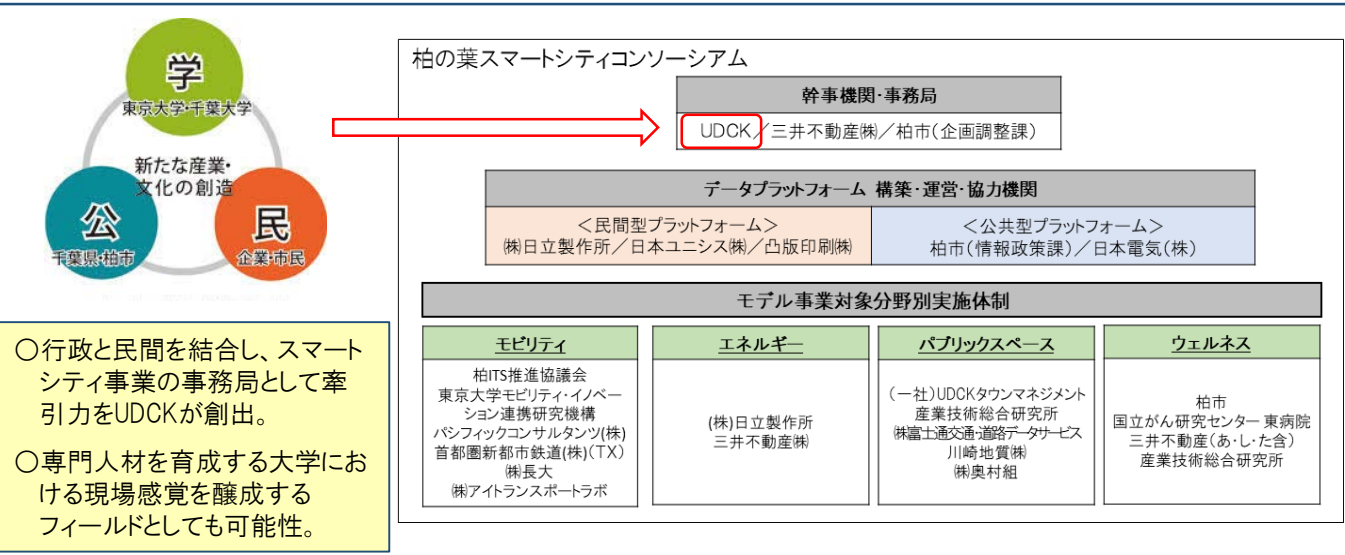
事例① 柏の葉スマートシティコンソーシアム

- 区画整理事業の進展に伴う土地利用の促進と住民のQOL向上によるエリアの魅力増進を目的に、「エネルギー」、「モビリティ」、「パブリックスペース」、「ウェルネス」をキーワードに複数分野にまたがる総合的なスマートシティを展開。
- 市、民間事業者、大学等により組織される柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)がプロジェクトの事務局を担い、市と民間事業者との間を適切につなぐ潤滑油役として、また、プロジェクトを前に動かす牽引役として機能。

◆対象区域



◆事業実施体制



◆スマートシティの取組

エネルギー

- ・域内施設のエネルギーを一体的にマネジメント
- ・データ活用予測による電力融通効率化

AEMS管理画面

街区間電力融通(効率化)

【平常時の電力融通】地域レベルでピークカットを実現

【非常時の電力融通】住民の生活拠点にも電力を供給して地域の防災力を強化

モビリティ

- ・自動運転による事業用自動車の実証運行
- ・駅周辺交通の可視化・モニタリング

地域内交通ネットワークイメージ

2km 1km 500m

主要ネットワーク
補完ネットワーク
自動運転バス実証運行

企業・研究機関誘致を図る街区

パブリックスペース

- ・人流解析等に基づく開発計画、空間デザイン
- ・AI解析による道路等の予防保全型維持管理

駅周辺のカメラ・センサー設置予定箇所

歩行者空間ネットワーク
カメラ設置予定箇所
センサー設置予定箇所

ウェルネス

- ・健康データを活用した健康サービス提供
- ・医療機関における人流データを活用した患者の待ち時間軽減

データ連携による健康管理イメージ

個人に向けたきめ細やかな健康サービス・アドバイス

公共 <データ> 医療・介護施設等
民間 <データ> バイタル・ライフログ等
医療機関 診察・治療
リハビリ 重症化防止・自立の支援

円滑な診療・治療
健康・医療・介護の統合データ個人で容易に管理可能

4